

平成29年度ホタテガイ採苗情報（第3報）

平成29年4月27日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



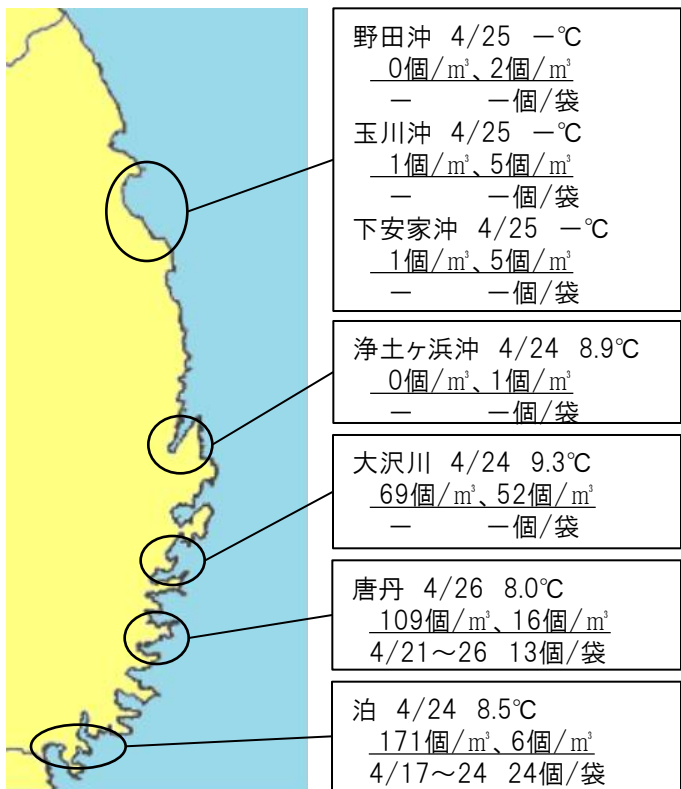
大型のホタテラーバが増加。間もなく採苗器の投入時期と予想。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は8.0℃で、透明度は7mでした。
- 唐丹湾では、ホタテガイラーバが殻長200μm未満の小型個体、殻長200μm以上の大型個体ともに増加しました。
- ムラサキイガイ等、ホタテガイ以外のラーバも増加しています。
- 他の調査点でも、殻長200μm以上の大型のホタテラーバが出現しています。
- 唐丹湾の試験採苗器へは13個体のホタテガイ稚貝が付着していました。
- 採苗器投入適期は間もなくと予想されます。採苗器投入準備を進めてください。

< 陸奥湾の状況（4月27日発行青森県ホタテガイ採苗速報） >

西湾では付着最盛期を迎え始め、東湾では今後最盛期を迎える予想。



調査点 調査日 水深10m層水温
 ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
 (国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月2日に発行する予定です。

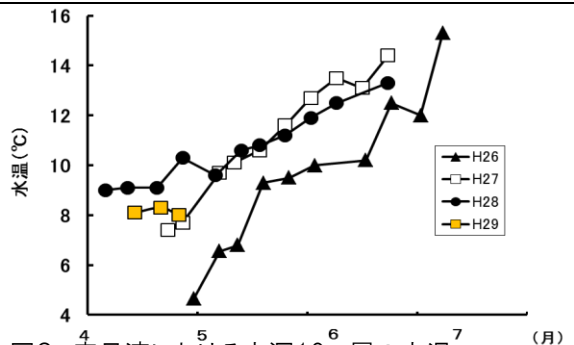


図2 唐丹湾における水深10m層の水温

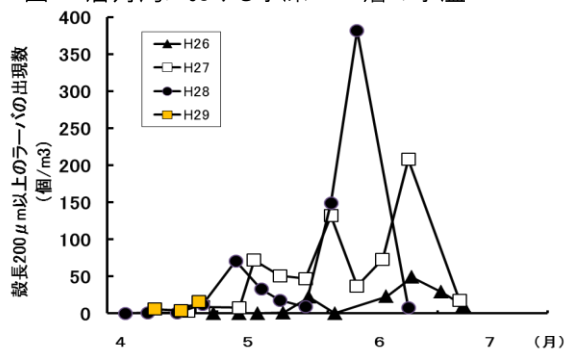


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

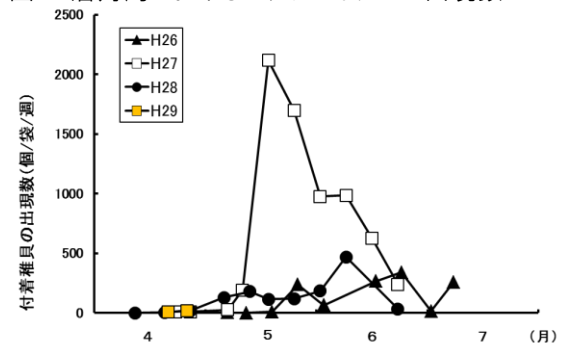


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数